

課 題 名 紀の川市におけるオーガニックビレッジ認定と学校給食への供給拡大
指導対象 ★紀の川市オーガニックビレッジ準備会（農協、有機認証協会、生産者団体、市食育推進会議、生協、紀の川市・和歌山県で構成）及びその後継組織★紀の川市環境保全型農業グループ（72 名）★那賀地方有機農業推進協議会（15 団体）

1. 取組の背景・ねらい

那賀地域には、環境保全型農業や有機農業に取り組む生産者団体が組織されていることから、これらの取組に関心の高い農業者が多い。また、紀の川市はオーガニックビレッジ宣言に向け、準備会を立ち上げている。このため、国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、紀の川市と連携し、有機農業に取り組む生産者の増加と、学校給食への有機食材の供給拡大を目指す。

2. 活動内容と成果

（1）オーガニックビレッジ準備会の運営支援

紀の川市における有機栽培の現状を把握するため、取組農業者数や取組面積等について市と連携しアンケート調査を実施し 15 件の回答を得た。

管内生産者の有機農産物（米、しょうが）を使用した学校給食（ごはん、炊き込みごはん）の試行を行った。



先進地研修

（2）有機農業研修会の開催

那賀地方有機農業推進協議会と紀の川市環境保全型農業グループの共催で有機農業のための理科勉強会「植物体内の物質移動」を開催した。

（3）市民への啓発

紀の川市環境保全型農業グループの会員が講師となり、紀の川市内の小学校（5 校）で地場産農産物や環境にやさしい農業についての出前授業を行った。

また、紀の川市食育フェアでオーガニックビレッジ準備会と那賀地方有機農業推進協議会の共催で、有機米と有機しょうがを使用したおにぎり 150 個の販売と有機農業についてのチラシを配布し、有機農業について理解醸成に努めた。

3. 農家等のコメント（紀の川市 A 氏）

紀の川市で有機農業をしているが、市内で地元の有機農産物を売っているところが無い。市内で生産から消費まで循環するような、地域ぐるみでの活動になってほしい。

目 標 管 理	現状値 (R5 年)	目標値 (R8 年)	年度実績値		
			1 年目 (R6 年)	2 年目 (R7 年)	3 年目 (R8 年)
有機農業研修会の開催（回/年）	0	2	2		
有機農産物を使用した学校給食の提供 （回/年）	0	2	3		

担 当 者：小泉奈美、上野山浩司、嶋本旭寿、小野寺真穂、遠田浩平
 協力機関：紀の川市、J A 紀の里、紀ノ川農協